

夏の海 37艇疾走

座間味—那覇 サバニ帆漕レース



サバニが次々と海へと出発する第9回サバニ帆漕レース＝29日、座間味村古座間味ビーチ

出発地の古座間味ビーチには選手や観客約千人が集まり、例年以上のにぎわいを見せた。

チーピン付近から那覇沖にかけて、風向きと潮流が逆になり、波が高くなつて棄権するサバニも出た。女性チームだけのケセラセラチーム（総合二十二位）とうみないびチーム（総合二十四位）は途中でサバニが転覆したものの、見事に

古酒泡盛の傑作
海乃邦

868-1470
沖縄県宜野湾市

完走した。座間味中生徒の海学校チームは出発から力強いかいさばきを見せ、観客から声援を受けながら十六位でゴールした。

一位は座間味区所属のざまみ丸チームが三時間三十一秒の大会最高記録でゴールし、那覇市所属の海想チームが二位、大阪所属青木ヨットスクールのヘンサーチームが三位と続いた。

（宮里芳和通信員）

し、うち三十一艇が完走。絶好の競漕日和となり、

村）が二十九日、開催された。出場艇は同日午前八時すぎ、座間味島の古座間味ビーチを出発し、熱気あふれる競技を展開した。

今回は三十七艇が出場

【座間味】沖繩の伝統的な帆かけサバニで座間味—那覇間三十六キロを競う「第九回サバニ帆漕レース」
（主催・帆かけサバニ保存会、共催・那覇市、座間味